

子育てをしながら働きたいママさんを応援している りんご農家の天野奈津美さん

子供がいるけれど働きたいママさんと農家さんをマッチングするバイト募集に動き回り、農家の人手不足解消となる人材を集めている奈津美さん。若い方が農業に興味を持ってもらい、いずれは農業で生計を立てる方が増えることを夢見て、育児・家事・仕事にと日々活躍しています。



◇4月下旬から5月上旬にかけて、すごく冷え込んだ日がありましたけれど大丈夫でしたか？

☆そうですねよ～。今年は遅霜の影響で早生種もふじも所々中心果がやられてしまったので、いいりんごになるのか心配です。

◇家族構成を教えてください。

☆実家の父・母。敷地内に家建てて主人と私と小学校3年生の息子と年長の娘と暮らしています。

代々、りんご農家なのですか？

私のおじいちゃんが元々鍛冶屋をやっていて、そこから農家になったそうで。そのときは小規模だったんですけど、父に代替わりをしてからだんだん広がって、今に至っています。

娘さん年長さんだから、まだ大変ですか？

だいぶ楽にはなったんですけど、やっぱり女の子なので「この服はイヤ！」とか「髪型はこうして！」とか…注文が多くて（笑）。

娘さんとのそんなやりとりもあったりして大変だと思いますが、毎日、育児・家事・仕事に携わっていて、特に大変だなあっていうのはどんなことですか？

今は農業をやりながら在宅ワークで画像修整のお仕事もしています。その他に町の「子育て応援会議」や「総合計画」という会議にも出ています。飯綱町公民館の館報編集委員も務めさせていただいて、取材をして記事を書いたりもします。とにかく仕事三昧の毎日で、お昼時間もない生活をしていました。家事や育児に手が回らない時は主人がフォローしてくれるのでとても助かっています。

主人がいないと家庭が回らないです（笑）。

聞いているだけでもスゴイ！！

今年から周りの若手農家さん5軒で「IIZUNAアグリサポーターズ」というグループを作って活動しています。ママさんをはじめ、幅広い年齢層の方を対象にりんご

の農作業のバイトを募集しています。「お子様連れ OK！急な早退も OK！」「自由な時間でお好きな園地を選んで働けます」など条件を緩めにして町内をメインにバイトの募集をしています。徐々に増えてきて、今は10名を超えてきました。



昨年までは私がバイトさんのシフトを組んでいたんです。それがものすごく大変で・・・それでいろいろ調べて「Timetree」という共有アプリを使って、農家さんとバイトさんがマッチングしたところで自由に働ける。という新しい取り組みをしています。バイトの募集は私がメインでやっていて、最初の面談や説明をさせていただいています。代表が女性だと安心できたり「私でもできそう！やってみたい!」とってくれる方が多いです。そういう意味では女性・ママってというのは強みかなと思いますね。

奈津美さんが居るおかげで、きっかけが作れるって感じですね!

仕事をしたい。ちょっとしたお小遣い稼ぎをしたいと思っているけど、子供がいるから無理って諦めているママさんて多いと思うんです。家の中で子供と向かって育児をしていると悶々としてきて、ストレスが溜まるママさんも多いだろうなって思って。私は子供が歩けるようになったら畑で遊ばせておいて、眠たければりんごのカゴに入って寝させるとか・・・そんな自由な育て方をしてきたので、農業だったら働きながら子育てもしやすいんじゃないかなって。毎日だけでなく、週に何回かでも気晴らしに来ていただいて、リフレッシュしたり、人手不足解消になればいいなと思います。

先進的ですね。

どこもみんな高齢化で跡継ぎがない農家さんが増えてきています。人手不足で悩んでいる農家さんが多いです。作れない畑が出てくると若手農家さんに作ってほしい!とお願いされるようですが、規模を広げると人手が足りないのが厳しいんですね。成り手不足にすごい危機感を感じていて、新たに農業をやりたい方が少しでも増えれば良いなという思いでやっています。

奈津美さん、すごくしっかりと考えていますよね!町の会議でもそういった発言とかはされているのでしょうか?

そうですね。飯綱町のりんごを盛り上げたい!もっとたくさんの方に農業のことを知ってほしいです。あとは若手農家さんを増やしたいですね。やっぱり人が動かないことには始まらないですよ。町がどうこうするわけではないので。とりあえず自分から動いてみようかな・・・と。いずれ何かに繋がればいいかなと思います。とりあえず

今は、私たちのグループを何とか回していきたいなっていう思いで頑張っています。飯綱町の皆さんは、行動が伴っていて意識の高い方が多い感じがします。いろいろ考えている方はたくさんいると思いますが、それを行動に移すってなかなか難しいですよ。

そうですね。みなさん「こうなったらいい、あんなだったらいい」と色々考えていらっしやいます。けれど、どうしたらいいのか分からなかったり、一歩が踏み出せないことがあるので、その後押しをしたり一緒に行動していくことで一歩踏み出せることもありますよね。飯綱町のいろいろな会議やイベントに私を呼んでくださったので成長させてもらえました。すごくありがたいなあって思っています。

◇奈津美さんは、小さい頃からお手伝いはされていましたか？

☆手伝いというか、両親にくっついて畑に行ったりしていました。でも飽きちゃうんですよ～。飽きたら木に登ったり花を摘んだり、畑で遊んでいた記憶しかないですねえ(笑)。自然と慣れ親しんでたって感じかなあ。

ご両親から後継ぎのことについては言われていましたか？

言われたことはないですね。私、元々長野市内の農協の金融窓口の職員だったんです。その時は家を出ていたんで、両親は後継ぎがいなくてもいいかなあと思っていたみたいです。私は幼い頃から農業に対してあまりいいイメージがなかったんです。いつも忙しいし大変だし、あんまり稼げないイメージがどうしてもあったというか。結婚を機に大阪に2年間行ってたんですね。その時に水と空気が違ったせいか、原因不明の体調不良になってしまいました…それまで空気とか水が美味しいなんてまったく感じた事はなかったんですけど、初めて「やっぱり長野、飯綱町ってすごくいい環境だったんだな」って気づかされたんですよね。時々、長野に帰省してきた時も、緑が濃いし空気も美味しいし、なによりも野菜・果物がすごく美味しくてエネルギーがあるっていうのを感じました。うちは直販なのでお客様から「こんなおいしいりんご食べたことない！」とか「いつも楽しみにしています！」といった嬉しい声を聞くと「おいしいりんごを作り続けてお客様に届けなきゃいけない！！」っていう気持ちが自然と芽生えました。主人も長野の自然が好きなので、りんご農家になることには特に抵抗もなく、むしろやりたいなあっていう感じでいてくれたので、数年のうちには世代交代をしたいなと思っています。

頼もしいですねえ！剪定もされていますが、難しくないですか？

難しいですよええ。今年初めて剪定講習会に参加したんです。それを機に夫婦2人で地元のリンゴ作りのプロの方に教えていただいて、見よう見まねで剪定しました。剪定は性格や個性が出ますよね。でっかい盆栽みたいなイメージでおもしろいです。陽の当たり方や方向性とかを計算して切っていくんですけど、センスが必要ですよね。農家さんによって作り方が全然違います。

きれいになっていくので、充実感もありますよね。

目に見えて分かるから楽しいです。ボサボサの頭が綺麗になった！カッコ良くなったなって感じです！！

その後の枝拾いが大変ですよええ。枝が残っちゃうと、その後の草刈とかの作業がやり

にくくて。

そうなんですよね。私、ずっと枝拾い担当だったの…大きい熊手みたいなので、ガツと効率的に集められないかなって思っちゃいます。農家あるあるですよ！

昨年ブルムリーとグラニースミスを初めて接いで成功したので、今年はムーンルージュと蜜がたくさん入りやすい高德（こうとく）という穂木をいただいて、2日間かけて4本くらいに接ぎました。

◇栽培面積はどの位ありますか？

☆まだりんごが実っていない畑も含めてですが、今年は畑を増やしたので2町歩位に増えました。昨年までは1.5町歩位でした。

主にりんごですか？他に何かやられていますか？

ワッサーをちょこっと趣味程度で作っています。今まであまり手をかけていなかった



んですが、昨年「天狗の館」で販売してみたら小玉だけどもめっちゃ甘かったので評判が良かったんです！ちゃんと剪定してしっかり作ろうと思って、今年は主人とワッサーも剪定しました。

◇りんごジュースの他に、加工品はありますか？

☆ウチはりんごとりんごジュースのみです。

りんごジュースはどこで加工されていますか？

長野市内の加工会社さんで、ウチの周りの共同農家さん9軒位で完熟りんごのみを搾ってもらったものを、山梨県の清涼飲料水製造会社さんに運んで、パックに詰めて販売しています。

また、「干支りんご」絵柄の入ったりんごを限定販売されているようですが。

干支りんごは、家庭用と贈答用3kgを除く商品を購入された方で、ご希望の方に1箱につき1個無料でお入れしているんです。

◇他に何か考えていることはありますか？

☆昨年の冬からふるさと納税に出品していますが、今年からは今まで出品していなかった「りんごの定期便」や、ふるさと納税でしか販売しない「早生種りんご&ジュースセット」を出品しています。あと、昨年から町内にあるお菓子屋さんとお菓子とりんごのコラボ商品を販売させていただいて、こちらも新商品を販売予定です。飯綱町のお米とりんごのセットなどで売り出せたらなあと思っています。ウチだけじ

やなくて、いろんな業種の方たちとコラボして相乗効果になればいいなって思います。すごくいいアイデアだと思います。

◇りんごを使った料理で、何かアレンジしたり作ったりしますか？

☆やっぱりアップルパイ！アップルパイは生地から作ったりします。あとはタルトタタン風ケーキや、ジャムですね。

どれも美味しそう！

◇ストレスも少なからずあると思いますが、発散っていうと何かしていますか？

☆たまーに、1人カラオケとか行きます！

私も1人カラオケ行きますよ。たまに行きたくなりますよねー（笑）。

はい。発散できますよね！あとは食べることが好きなので、食べ放題とかにも行きます。

学生の頃などにハマっていたことは何かありますか？

中学・高校と卓球部だったので、漫画喫茶に行くとか本気で卓球してました（笑）。あとはスノーボードですね。ずっとスキーをしていたんですけど、社会人になってからスノーボードに転身して、毎週末1人でゲレンデに通ってキッカーを飛んでいました。出産を機にしばらく行けなかったんですけど、前々シーズンに黒姫でスキーとスノーボードのインストラクターを頼まれたことがきっかけで、またキッカーを飛び始めました。スノーボードが一番のストレス発散ですかね！

◇農業に携わって感じる、農業のイメージや魅力はどんなところですか？

☆そうですね～。昔はダサイとか汚いっていうイメージがありました。私自身「ウチはりんご農家です」って言うのがすごい恥ずかしかったんですよ。でも、自分がりんごを育てて、販売してお客様に届けるっていう工程を体感したときに、「これって人を笑顔にするすごくいい仕事なんだなあ」って気づかされました。りんごを育てるのは成長が目に見えるからやりがいがありますし、愛情込めて作ったりんごを送るときは娘を嫁に出すような感覚になるっていうか。

その言葉、よく聞きます！

達成感が得られること、お客様が喜んでくれる姿を間近で見られることは、とても喜びを感じますね！「こんなに美味しいりんご食べたことない！」「このジュースおいしい！！」とか言われると本当に嬉しいです！！自分でパンフレットやDM作成したり、HPの管理や顧客管理、営業もしたり…と仕事の幅が広いので、今までできなかったことができるようになることが楽しいですね！

奈津美さんは、生産から販売、営業まで全部携わっているんですものね。すごいパワーですね。

でもりんごの知識についてはまだまだ浅いので、その知識の部分はもっと勉強していきたいなって思っています。自然相手は奥が深くて難しく一筋縄じゃいかないから

こそ、面白いのかなあ。

本当にそうですね。ワンパターンじゃないから。

飽きないっていうのもあるのかも。今年はこのくらいの収量だから、こう売ろうかなとか考えたりもするし。

そういう先々のことまで考えながらやられているのですね。本当に頭が下がります。奈津美さんは長野県北信地域の農業女子グループの「N」北信に入られていますよね？はい、入っています！N」北信メンバーと一緒に飯綱町の「天狗の館」と「りんごの湯」に商品を置かせていただいています、私は「天狗の館」の方のリーダーをやらせていただいています。

そうなんですね。昨年「天狗の館」周辺でマルシェをやられていましたよね？

はい！やりました！初めて出店させていただいたんですけど、お天気が昼過ぎから怪しくって、猛烈な雨と風でテントやタープが吹き飛ばされそうになったりして大変でした。14時位には打ち切っちゃったかな。お天気に恵まれればもうちょっとできたのに、もったいなかったですね。

また今年もやる予定ですか？

今年は7月20日・21日に「Komachi」さんとのタイアップで、子育て世代・お子様に向けたイベントを開催予定ですので、そちらに出店させていただく予定です。

「りんごの湯」にはブースとか設けてやられているのですか？

「りんごの湯」にもN」北信メンバーの商品を置かせていただいています。6月23日の「りんごの湯夏祭り」で初めて露店販売をする予定です。

◇若い農業女子の方もご近所さんに何人かいらっしゃいますよね。交流はされていますか？

☆個人的に「お茶飲もう」とか「ランチ行こう」って誘っています。あとは地域のイベントがあった時にお誘いしています。

そうなんですね。N」北信に入っているとのことですが、私たち農林水産省でも「農業女子プロジェクト」という活動を行っています。今、長野県内は30人ちょっとメンバーになっていますので、ご興味がありましたらぜひご検討ください。PJですよ！知ってますよ♪また検討してみます。よろしくお願ひします。



◇女性目線で、奈津美さんがこういうものがあればいいなあって思いつくものは何かありますか？

☆やっぱり、作業しやすいオシャレでかっこいい農作業着や、フェイスマスクやグローブですかね。モンベルさんと何かコラボできないかな？って思っていたり。あとはサングラス。クリアなもので軽くてフィットするものが欲しいです。市販のものだとずれたり、鼻すじに跡が付いて嫌なんですよね。長靴もスタイリッシュな動きやすいものが欲しいですね。

◇今後、新たに始めたいことや、夢などはありますか？

☆自動草刈機を誰か開発してくれないかなあって思っているんですけど。すでにあるみたいですが、今のものはいろいろ規制があるので、もっと簡単に使えるものがないかな～と。自動で草刈りをしている間に他の作業ができれば、だいぶ人的ロスが減るなあって思います。あとは人材不足解消ですね。若い方が農業に興味を持って農作業のお手伝いをしてくれる方が増えて、いずれは自分でも畑を作って生計を立てていきたい！っていう方が増えるような環境を整えたいです。「農業っていいね！！」って思ってもらえる方が増えて、農業をやる方が増えることが私の夢です。バイトのみなさんもほとんどが女性ですが、お友達同士の口コミで広がっていることもあるみたいです。

口コミなどで広がったりすると、すごくいいですね。女性って、話がいろいろと広がるし（笑）。

やっぱり女性の口コミは広がりますよね！色々なことで疲れた方に農業は持ってこいだと思うんですね。

取材していても、そういうお話をお聞きします。特に移住されてきた方とか。

多いですね。農業は自然が相手で癒しももらえるし、農業は私の天職かなって思っています！木やりんごと話ができたらいいなって思います（笑）。

花とかもそうですが、愛情を注ぐとやっぱり違うってよく聞きますよねえ。植物も分かるんじゃないですかね、繋がっているというか。

ホントに！たくさん愛情を注いでいるので、繋がっていると思いますよ。

毎日見ていれば、本当に何か分かるかもしれないですね。

昨年接ぎ木した細枝が、もう元の枝と同じ位太くて同化しているんですよ。すごい勢いで葉っぱが出て花が咲いていたので、植物の生命力に感動しました。形は違うけれど、子供みたいな感じです。

本当そうですね！

とにかくりんごは可愛いです！皆さんにもこの気持ちをぜひ味わっていただきたいですね！

◇いろいろなお話をお聞きできて、とても楽しかったです。

農業や画像のお仕事をしながら子育てにも全力な奈津美さん。毎日、休む暇がないほどお忙しいのに、常に前向きで行動力のある姿は本当にステキです！

そんな奈津美さんだからこそ、周りのみんなも集まってくるのでしょうね。

マッキーがおじゃまします！

これからも、更なる活躍を期待しています！
今回は貴重なお時間をいただきまして、ありがとうございました。



マッキーがおじゃまします！
関東農政局長野県拠点